

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

# 活き活き ふるさと通信

第25号 2012年3月15日発行【真田地域に全戸配布】

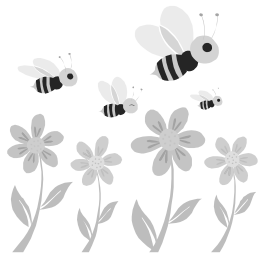
平成24年2月19日(日)、真田中央公民館大ホールにて、真田の郷「みんなのつどい」が開催されました。つどいは3部構成で、午前11時から午後4時まで多くの方々のご協力で盛大に執り行われました。このニッセイ財団高齢社会先駆的事業は3月で終了しますが、今回で3回目の「みんなのつどい」は今までご協力を頂いてきた方々とのつながりをより強く感じる催しであったと感じています。【2頁から報告記事】

多くのご参加をいただき、ありがとうございました！！

古き良き郷人情味溢れる郷真田の郷みんなのつどい  
(ニッセイ財団高齢社会先駆的事業)



東日本大震災から1年、みんなの力で東北の復興を！！



## 古き良き郷、人情味溢れる郷、 真田の郷「みんなのつどい」が開催されました！

### 第一部 11:00～13:00 「みんなで楽しくふれあい！」

開会のセレモニーでは、真田を代表するゆるキャラ「かりまるくん」と「ゆきたん」が応援にきてくれました。



### ◆真田中学校吹奏楽部&ダンスクラブ KDC

ステージでは、今回初めてお願いしたところご快諾いただいた「真田中学校吹奏楽部」のアンサンブルコンサートと「ダンスクラブ KDC」の出演で、大いに会場が盛り上がりました！

真田中学校吹奏楽部は今年から赴任された宮下先生の指導のもと、全国大会を視野にいたした活動をされているとのこと。金管・フルート・打楽器それぞれ高い完成度の演奏は、時間が経つのを忘れるほどすばらしいものでした。

また、ダンスクラブ KDC は日頃の練習がとても楽しく充実していると想像できるほどの華麗なチームダンスで、観ている方みんなが元気になる素晴らしい時間を作ってくれました。



### ◆「おにかけ」120食をふるまう！

食生活改善推進協議会の全面協力で、今年も「おにかけ」のふるまいを行いました。すべて手作りの「おにかけ」は栄養満点、味満点。用意した約120食はすべて会場にお越しいただいた方のお腹におさまりました。



### ◆特設ブースの出店

ホール後方に設置された特設ブースには、昨年同様に「すが原」「入軽井沢館」「宮島酒店」「ほこほコネクト」「風屋とうふ店」「雁丸屋」「スタジオセブン」「おもちゃ図書館」にご出店いただきました。

また、スタジオセブン特設スタジオにて雁丸屋様よりご提供いただいた甲冑を着て、さらに「かりまるくん」と「ゆきたん」と一緒に記念撮影が今回の目玉となりました。



## 第二部 13:30~14:30

「温故知新みんなで歴史を学ぼう！」



長谷寺住職の宮下様に「長谷寺と幸隆公」と題し、ご講演をいただきました。長谷寺は、真田幸隆公夫妻と真田昌幸公の菩提が祀られている歴史あるお寺です。古き戦国時代から現在の地籍の由縁にいたるまで丁寧なお話をしていただきました。

## 第三部 15:00~16:00

「みんなで楽しんじゃおう！」

今年もトリを飾っていただいた「劇団 ACT MAFFIA TOKYO BOWZ」のミュージカル。TOKYO BOWZの皆様には、前日の会場設営にも大変な時間と技術を使っていただきました。ステージの照明と音響は全てTOKYO BOWZオリジナルです。舞台のセットはシンプルながらも、その場の風景が見えてきそうな迫真の演技はさすがでした。会場と一体となったすばらしい時間でした。



鍛冶町食糧販売店

信州味噌創作工房

真田町長 797-1 TEL&FAX72-2125

気になるあの店



菅平に向かう大日向地区の右側、「ここは何のお店？」と思うおしゃれな建物があります。

大日向にお住いの塩沢和洋さん、幸盛さん親子が昨年7月にオープンさせた鍛冶町食糧販売店の事務所と、信州味噌創作工房です。二人ともお忙しくお米や味噌等の製造小売り、卸などたくさんの仕事をこなしていらっしゃいます。

自慢のお味噌は、お米は佐久穂町、御代田町産のあきたこまちを、大豆は上田市塩田産の原材料のみを使用しており、添加物を一切使わない昔ながらのお味噌です。一口食べていただくと懐かしさを感じ

ていただけるこだわりのお味噌です。

また12月~2月はのし餅やかき餅、お供えとさまざまなお餅の製造をしています。

白米は佐久産のお米から業務用のお米まで幅広くお客様のニーズに沿って取り揃えています。

大学卒業後3年間新潟で食糧販売の勉強をしてきた幸盛さん、若い後継者は新しいことの挑戦しており頼もしい限りです。事務所の中は明るくとても気持ちのいい空間で、明るく迎え入れてくれます。是非一度お寄りください。写真のお二人は代表の塩沢和洋さんと事務をされているお姉さんです。

おしゃれな衣類・雑貨とアロマセラピー  
パワーストーンのミニセレクトショップ！



営業時間 10:30~18:30(土・日・祝日) 10:30~18:00(定休日 月曜日)

おしゃれハウス AYUR

上田市真田町本原545-14 電話0268(72)1553(本原医院様となり)



かり丸くん

真田グッズ

かり  
真田雁丸屋

詳しくは

かり丸くん

又は

さくらゆき

で 検索

(TEL 0268-23-7313)

行ってきました！



真田地域包括支援センターは、  
高齢者の生活を支える総合相談窓口です  
☎ **72-8055** 有線 **2080**  
(総合福祉センター内 社会福祉協議会)

## 今回は、「マジックバルーンアート講座」と 「NALC桃のお節句料理教室」です

### 「マジックバルーンアート講座」



2月10日（金）に真田総合福祉センターで開催されました。この講座はボランティア養成事業として、子育てや地域活動に活かしていただくことを目的に、初めての体験の方を対象としています。

今回は30名ほどの方々が集まり、講師の方の指導を受けながら犬やウサギ、剣などさまざまな作品を作りました。色とりどりのバルーンアートが出来上がり、皆さん楽しそうに作成されていました。この講座を受けた後、早速ボランティア活動で披露した方もいるそうです。

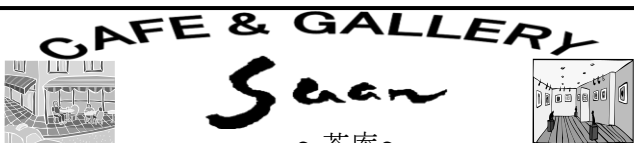


### 「NALC 桃のお節句料理教室」

1月20日（金）に行われた男性お料理教室参加者の中のグループ4名と仲間の4名の男性も加わり、「肉団子入りおにかけうどん」を手作りして、NALCの会員の皆様とご近所の高齢者の皆さんに振る舞いました。

ちなみに、NALCとは“自立・奉仕・助け合い”をモットーに参画するボランティア団体のことです。高齢者・障害者の支援や介助、三世代子育て支援、道路・河川などの環境美化のボランティア活動が柱です。その一環として、高齢者の移送サービスも展開しています。

会員の方が持ち寄った漬物やデザート、事前に手作りしたちらし寿司などテーブルいっぱいのお料理を頂きながら、お話に花を咲かせました。



～茶庵～

日替りランチ 600円《コーヒー付 700円》数に限りがあります。

軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもごさいます。

TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日

11:00 ～ 17:00 (ラストオーダー16:30)

### ◇◇求む！こんな物件◇◇

「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎！

「こんなとこ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり…  
カンリーハウス21は田舎暮らしを夢見る皆様のお手伝いをしています。

↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ↓



真田町本原 1967-33 (担当: 石井)

いきなりホットライン: 080-5108-9701

ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>

## 地域包括ケア」システムを考えるシンポジウム 参加無料・申し込み不要

ー「地域包括ケア推進事業」の実践報告と「上田市第5期介護保険事業計画」についてー

日時：平成 24 年 3 月 27 日(火) 13:00～16:30

会場：長野大学 リプロホール

内容：13:00～基調講演

長野厚生連佐久総合病院付属小海診療所 所長 長 純一氏  
実践報告と上田市の介護保険事業計画について

○社会福祉法人小田原福祉会 特別養護老人ホーム 施設長 時田佳代子氏

○社会福祉法人恵仁福祉協会 アザレアさんだ 田中文字子氏

○上田市健康福祉部高齢者介護課 課長 徳永暁重氏

15:20～シンポジウム

コーディネーター 合津文雄氏（長野大学社会福祉学部教授）

サポーター 長 純一氏(前掲)

シンポジスト 時田佳代子氏 徳永暁重氏 田中文字子氏(前掲)

主催：社会福祉法人恵仁福祉協会 長野大学附属地域共生福祉研究所

後援：上田市 長野大学地域連携センター

問い合わせ先社会：福祉法人恵仁福祉協会 電話(0268)72-2781 担当：田中文字子



### 真田町の頌徳碑をたずねて 第3回◆高寺彦義翁頌徳碑（本原）

文・若林幸正（通信員 NO.49）



高寺彦義翁の功労を称える碑が、真田町本原竹室の自宅前に建立されている。  
頌徳碑の表字は時の長野県知事西沢権一郎氏によるものである。

高寺翁は、昭和初期から本原村の果樹園芸、花卉農業の生産振興に卓越する指導力と比類なき犠牲的精神により、地域産業の興隆にさいわたる足跡を残している。特に昭和32年上小地区農協果樹園芸推進委員会会長に就任し、全地域に亘る組織の強化、上小統一マーク（六文銭）の採用など、共販体制の強化に努め、真田町リンゴ、上小リンゴに名声の高揚に貢献した。不撓不屈の献身と輝かしい功績により、昭和41年8月長野県知事より果樹産業功績費をはじめ、各種団体から数多くの産業功績賞を受賞した。

翁は温厚篤実で事に当たっては果敢、堅忍不拔の実行力をもって果樹、花卉産地の育成に貢献し、果樹花卉農業に係わる役職とその功績を讃えて地域の果樹生産者により、昭和44年に翁の庭先に、頌徳碑が建立された。享年87歳。多くの生産者に惜しまれながら大事業を成し遂げた。

#### ◎ 経歴（碑文）

- 1 本籍地 旧真田町本原2358
- 2 大正6年本原村竹室に生まれる。
- 3 昭和13年、本原村果樹園芸組合設立し、組合長に就任
- 4 昭和16年、上小花卉園芸組合長に就任（本原村組合長兼務）
- 5 昭和24年、本原村農業協同組合長に就任
- 6 昭和27年、上小果樹振興組合長に就任
- 7 本原村村会議員に当選。
- 8 昭和32年・県経済園芸専門委員会委員  
・長野県果樹振興対策協議会常任委員
- 9 昭和32年、上小農協果樹園芸推進委員会会長に就任
- 10 昭和33年、真田町町会議員当選

#### ひとくちメモ

頌徳碑建立地：真田町本原竹室  
自宅前

写真撮影：平成24年2月  
参考文献：長野県園芸功労者  
追悼録（県経団連）

建立者：本原果樹生産者有  
志一同

建立年：昭和44年 春  
資料提供者：竹室区高寺良和



私たち長小学校では、児童会が中心となって、アルミ缶を集めています。毎年、集まったアルミ缶で車イスを購入して、福祉施設に贈っています。「ライフステージかりがね」には、7年前からずっと贈っています。今年は「アザレアンさなだ」にも贈ることにしました。長小学校のすぐそばに新しく「真田グループホーム」ができるので、そこの高齢の皆さんに使っていただこうと思いました。3月9日には全校児童が音楽室に集まり、車イスの贈呈式を行いました。

全校の児童の協力で、「人の役に立つ」、「人に喜んでいただく」ことができて、本当に嬉しいです。これからもずっとずっと続けていきたい取り組みです。



### 一緒に真田のまちを 再発見しませんか?

身近な情報を  
編集部へお寄せくださる  
通信員を募集しています!



### ★会員募集★

子育てサークル「どんぐりの会」では、平成24年度の新入会員を募集しています。真田町を拠点に、0歳から3歳までのお子さんを中心として、季節の行事や外遊びなど和気あいあいと楽しんでいます。お子さんのお友達作りに、親同士も交流を楽しみつつ、一緒に活動しませんか? 年度途中の入会も大歓迎ですので、お気軽にお問い合わせください♪

活動日・回数◇毎月1~2回(年間15回)

主な活動場所◇真田保健センター

会費◇年間1,500円(2人目以降半額)。途中入会の場合1回100円。

保険料◇子ども1人600円(会員数により変更あり)

お問い合わせ◇小川 博美 090-5205-1912

関口 亜紀子 090-4757-8403



**編集後記** ●3月になり、寒暖の差が大きくなってきます。汗ばむような日、雪が降るような日、これからの体調管理が難しくなります。インフルエンザもA型・B型取り混ぜて大流行です。ワクチンの効力が切れるこれからの流行の波がやってきます。栄養と休養をとって乗り切りましょう。  
[田中文字]

●大雪が降ったり、暖かくなったり体調管理が大変ですね。しかし、確実に「春の足音」が聞えてきました。暖かくなれば、いろんな行事が始まります。地域での楽しい催し物や大切な行事についてお知らせ下さい。どんどん発信していきたいと思います。[田中晋]

### ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ)では、平成21年10月26日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいとこ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。通信の発行もその一環です。

発行元:「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局:高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ [http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402\\_nissei\\_kouho.aspx](http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx)

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2012年4月15日の発行です。